



文京学院は、平成 26 年に創立 90 周年を迎えます。

<本郷キャンパス>学校法人文京学園  
文京学院大学経営学部・外国語学部・保健医療技術学部・大学院／文京学院大学ふじみ野幼稚園  
〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保 1196  
☎大 049-261-6488 幼 049-262-3806  
<駒込キャンパス>文京学院大学女子高等学校／文京学院大学女子中学校  
〒113-8667 文京区本駒込 6-18-3  
☎ 03-3946-5301  
☎幼 03-3813-3771

# 日本医科大学と本学 「連携協力」締結で絆強く

2014年4月、本学には「看護学科」が新設される予定です。地域医療・チーム医療が求められる医療分野で、近隣大学である日本医科大学と本学は、連携協力により、相互の教育・研究の一層の進展を図り、人材の育成・学術の発展、および専門技術の向上を通して社会に貢献することを目的として、両大学学長による協定書調印式を執り行いました。



調印後に固い握手を交わす田尻学長(左)と川邊学長

7月5日、本郷キャンパスのサロン・ド・フンキョウにおいて、日本医科大学と本学との「連携協力に関する協定書」・「保健医療技術学部看護学科学生実習の覚書」の取り交わしと調印が行われました。

これまでも臨床検査学科など、一部の学科との教育や研究での連携を行ってきた両大学ですが、今回は学部の問わない包括的な協定により、今後、両大学の得



前列左から赫理事長、田尻学長、川邊学長、島田理事長、後列左から弦間医学部長、鈴木大学院医学研究科長、島田(昌)副理事長、工藤副学長・保健医療技術学部長

【日本医科大学】創立130年を超える日本最古の私立医科大学。創立以来、医療者が貫くスピリットを学是「克己殉公」にこめて、人間性豊かな医師や医学者を育成し、これまでに1万人を超える臨床医、医学研究者、医政従事者を輩出。

日本医科大学からは、田尻学長、島田昌和副理事長、工藤秀機副学長・保健医療技術学部長が出席しました。

式終了後の記者会見では、以下ははじめ多数の質問が寄せられました。

①「求める医療・学生像について」②「両大学にとってどのようなメリットがあるのか」③「両大学側からは、①「ヒューマニズムがないと難しい分野。自ら進んで問題意識を持ち、チーム医療に貢献できる学生」(工藤学部長)②「文系は倫理・語学などに強く、グローバルな発展を目指す本学にとって必要パートナー」(赫理事長)などの回答がありました。

## Green Spirits



私は、昨年4月に臨床検査学科長に就任しました。臨床検査学科は、前身の専門学校から大学になり、6年を経過し、学科長も3代目となります。既に学科の基本的なものは出来上がっています。進路指導では、キャリアアセンタールの協力を得てガイダンスを実施しており、病院や企業など分野の採用担当者、そこに就職した卒業生の講演を企画しています。講演の後に行われる情報交換会では、学生が採用担当者と直接話すことができ、進路を決めるのに非常に有意義のようです。

卒業後の教育では、私が一般社団法人日本臨床検査同院の臨床検査学部長であることより、本学で「臨床検査技術講習会」を開催し、6回目を迎えました。講習会には、全国より受講生が集まっています。今年7月には本学で、認定試験である二級臨床検査士「臨床化学」を実施しました。

## 中1総合学習 本学の堀内先生が「児童労働」を語る



児童労働の実態について話す堀内先生

堀内先生は、労働省、外務省国際連合日本政府代表部公使などを経て、ILO(国際労働機関)アジア太平洋総局長や駐日事務所代表を歴任。現在は、児童労働ネットワーク代表として、精神的に児童労働問題について取り組んでいます。

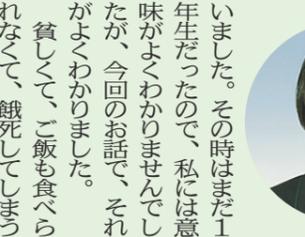
困、教育の機会が欠如、子どもを働かせる社会的・文化的習慣などの問題に深く切り込んでいくのが、児童労働問題の第一人者である堀内先生です。講演で語られた内容は、中学生にとって衝撃的なものばかりで、生徒たちは「世界の子どもの現状を全知する環境で生きていくわけではない」という現実を知りました。

この6月は、児童労働ネットワーク(CLINet)が児童労働のない世界を目指す「6月1日〜30日、「ストップ!児童労働キャンペーン2013」を実施。スローガンを「ストップ!児童労働」(「とどまらないう」)と掲げ、児童労働のない世界を目指すことを目指す。堀内先生のお話を聞いて、「貧しい開発途上国のために、私には何が出来るか」ということを考えました。最初に思い浮かんだのは、「ボランティア」です。その活動で、いろいろな国の人の力になれると思ったり、



中尾富貴子(1桃)

私より小さな子どもたちが働いていることを知りませんでした。かわいそうだなと思いました。



大輪かれん(1桃)

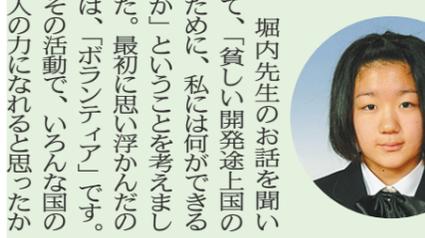
小学校の時、先生が「世界では3秒数える間にひとりが亡くなる」とおっしゃった。貧しい国は、今、どうしてこんな状況になっているのか、赤ちゃんと命がなくなると思いました。「世界では貧富の差がはげしいなあ」とあらためて思いました。私がアフリカのような貧しい国で生まれていたら、赤ちゃんの時、命がなくなると思いました。

昨日、初年次教育の重要性が叫ばれていますが、本学の臨床検査学科では、新たに学生の勉学の目的意識を高めるという部分に力を入れています。1学年の2月に行う埼玉医科大学総合医療センターの中央検査部の見学をはじめ、前期の始めに行

堀内光子先生(文京学院大学・大学院特別招聘教授)が6月5日、駒込キャンパスで中学1年生を対象に「世界の子どもの学校に行けない子どもたち」を演題として講演とワークショップを行いました。これは、中学生が総合学習の一環として「世界の子どもの学校」をテーマに、「文京祭」での発表に向けて3年前から

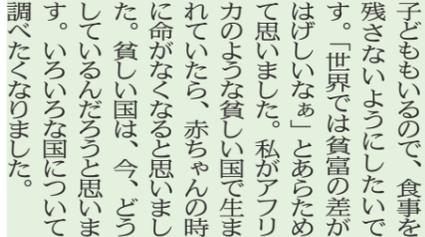


みなで手製の旗をあげて、「ストップ!児童労働」キャンペーンに参加した。スローガンを「とどまらないう」と掲げ、児童労働のない世界を目指すことを目指す。堀内先生のお話を聞いて、「貧しい開発途上国のために、私には何が出来るか」ということを考えました。最初に思い浮かんだのは、「ボランティア」です。その活動で、いろいろな国の人の力になれると思ったり、



中尾富貴子(1桃)

私より小さな子どもたちが働いていることを知りませんでした。かわいそうだなと思いました。



大輪かれん(1桃)

小学校の時、先生が「世界では3秒数える間にひとりが亡くなる」とおっしゃった。貧しい国は、今、どうしてこんな状況になっているのか、赤ちゃんと命がなくなると思いました。「世界では貧富の差がはげしいなあ」とあらためて思いました。私がアフリカのような貧しい国で生まれていたら、赤ちゃんの時、命がなくなると思いました。

「教育力の文京」を目指して 下村弘治 保健医療技術学部臨床検査学科長  
本学は歴史もあり、受験生も増えていることにより着実な発展をしております。「教育力の文京」を目指して教員一同さらなる努力をしております。



